



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

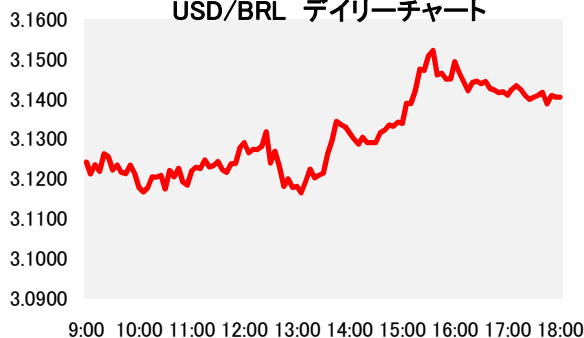
			10月20日	10月21日	10月24日	10月25日	10月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1420	3.1560	3.1220	3.1120	3.1400	+0.0280
	BRL/JPY	Spot	33.09	32.89	33.38	33.47	33.28	-0.19
	EUR/USD	Spot	1.0926	1.0881	1.0875	1.0887	1.0905	+0.0018
	USD/JPY	Spot	103.96	103.83	104.23	104.20	104.50	+0.30
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.352	13.198	13.220	13.305	13.303	-0.003
	Future	1Year(p.a.)	12.386	12.418	12.379	12.466	12.477	+0.011
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.952	1.827	1.944	1.942	1.950	+0.008
	USD	1Year(p.a.)	2.115	1.981	2.073	2.075	2.081	+0.006
株式	Bovespa指数		63838	64108	64060	63866	63826	-41
CDS	CDS Brazil 5y		262.09	261.00	259.72	264.28	270.00	+5.72
商品	CRB指数		188.775	189.395	189.438	189.347	188.720	-0.63

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

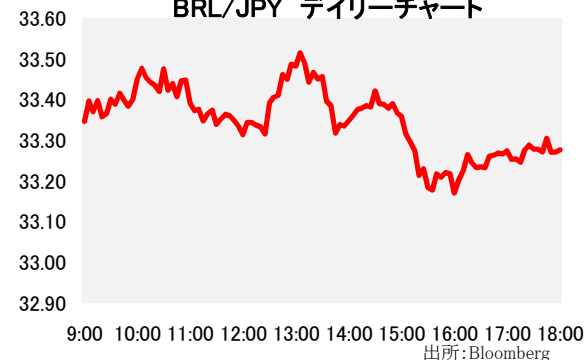
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.10%	0.18%	0.02%
FGV消費者信頼感	--	82.4	80.6
PPI製造業(前月比)	--	0.24%	-0.38%
ローン残高	--	-0.2%	0.0%
融資残高	--	3110b	3115b
登録雇用創出合計	-7000	-39282	-33953
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	-4.1%	0.6%
(米)新築住宅販売件数	600K	593K	575K

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



## 3. 要人コメント

	特になし
--	------

## 4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる3.1140で寄り付いた。材料難から3.12を挟んだ揉み合いが続いたが、原油先物価格が下落しWTI先物が3週間ぶりの安値をつける中、レアルも短期筋の利益確定の動きなどで売られる展開。日中安値3.1530を現し、3.1400でクローズした。
- 歳出上限法案の2回目の審議が下院議会で可決された。可決に必要な308票を大きく上回る359票の賛成多数での下院通過となった。しかし、一回目の366票の賛成票よりは減った形。政府は歳出上限法案の議会通過を本年度最重要項目としており、改正案に反対した与党下院議員に対して何らかの報復措置を行うと発表した。今後法案は上院議会での審議に移る。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。